



新年のご挨拶

システナ健康保険組合
理事長 国分 靖哲

あけましておめでとうございます。

世界を震撼させた新型コロナウイルス感染症の発生から約2年がたち、被保険者ならびにご家族のみなさまにおかれましては、生活環境の大きな変化への対応を行っている、あらためて「健康に生活すること」の大切さを実感されている方も多いと拝察いたします。そのような状況の中においても、健保組合の事業運営に対し格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

わが国は加速する高齢化に伴うさらなる医療費の増加が見込まれています。いわゆる「団塊の世代」が本年より75歳に到達し、続々と後期高齢者に移行することで、現役世代の高齢者医療費負担が限界に達し、国民皆保険制度そのものの存続が危ぶまれている状況です。当初「2022年危機」と呼ばれていたこの構造変化は、新型コロナウイルス感染症の発生により実質1年は前倒しになっているという指摘もあり、事態

はすでに深刻なものとなっております。

政府は「一定所得以上の後期高齢者の医療費窓口負担を2割へ引き上げる」など、現役世代の負担軽減につながる法改正を成立させ、本年以降順次施行していく予定となっております。しかし、一連の改革内容は現役世代の負担を軽減するためには決して十分とはいえず、健保組合としては一刻も早く、かつ付け焼刃的なものではない抜本改革を望むものです。

健保組合では引き続き重症化予防を見据えた保健事業を推進してまいります。コロナに限らず、病気の進行を防ぐには定期的な健康チェックとその結果を活かした日々の健康管理が大きな鍵となります。健保組合がご案内する各種健診事業は、そうした鍵を強固にする助けとなります。健康であれば必要以上に医療機関にかかることもなく、医療費の節減にもつながりますので、ぜひとも積極的にご活用になり、健康を維

持されますようお願いいたします。

また、ジェネリック医薬品の活用など医療費の適正化についても、ご理解とご協力をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

結びに、みなさまが病気にかかることなく、すこやかな1年をお過ごしになられることを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

